

# 広げよう心のバリアフリー



町田市障がい者  
差別解消犬ノンバリ

ノンバリは、障がいのある人の手助けをするため日々勉強中です。障害者週間(12月3日～9日)をきっかけに、障がいのある人もない人も共に生きていくことについて、ノンバリ、クラフト工房La Manoの皆さんと一緒に考えてみましょう。

## 障がいってわたしと関係あるの?



障がいを自分とは関係のないことだと感じたことはないかな。生まれたときから障がいのある人もいれば、病気や事故などによって障がいのある状態になる人もいます。誰にとっても身近なことだし、障がいのある人もない人も、共に生きていくためにどんなことができるか、みんなで一緒に考えていきたいね。

## 障がいって何だろう?

障がいのある人が普段の暮らしで受ける制限は、身体や精神の機能面だけではないんだ。段差や、利用しにくい制度、偏見など、いろいろなところで社会との間にバリアができてしまっているんだよ。



クラフト工房La Mano  
施設長の高野さん

私はメガネをはずしてしまったら何もできません。障がいのことを説明する時、いつもこの話をするんです。障がいのある方も、その方に合ったお手伝いをすれば素晴らしいことができるんですよ。



## 知っていますか? 障害者差別解消法のこと

「障害者差別解消法」は、障がいのある人とない人が分け隔てられることなく、すべての人がお互いの人格と個性を尊重しあいながら、共に生きられる社会を実現するために、2016年4月から施行されました。この法律では、行政機関や民間事業者による、障がいを理由とする差別を解消するためのルール等が定められています。

さらに2018年10月からは、「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」も施行されています。

## まちだまるごと大作戦18-20

「WheeLog! In まちだ バリアフリーマップ大作戦」が開催されました

11月17日に、スマートフォン用アプリ「WheeLog!」を使い、健常者と車いす利用者が一緒になって、市内を車いすで周り、同アプリにバリアフリー情報を投稿するイベントが開催されました。これは(特)町田ハンディキャブ友の会と(一社)WheeLog.市が協働でバリアフリーマップを作成する試みです。障がいのある人もない人も一緒になって、誰もが気軽に外出できる町田をつくる取り組みです。

問(特)町田ハンディキャブ友の会 ☎721・5721

## 普段の生活で、あなたやわたしにできることは?

例えば...

- 障がいのある人が困っているところを見かけたら、「お手伝いしましょうか」など、こちらから積極的に声を掛けましょう。
- 電車・バスの優先席や障がい者用駐車スペースでは、その場所を本当に必要としている人のことを考えましょう。
- 知的障がいのある人には難しい言葉を使わずに分かりやすく話す、聴覚障がいのある人には筆談や手話などで伝える、視覚障がいのある人には文書を読み上げるなど、伝え方を工夫しましょう。

クラフト工房La Manoのメンバーを支えるスタッフの神野さん

言葉、絵、文字、身ぶり手ぶりなど、その方が理解しやすい方法で伝える工夫をして、一人でお仕事ができるように支援しています。また、相手の高さに目線を合わせること、相手の立場に立ち、本人が抱える困難さに気がつくことを大切にしています。



メンバーの皆さんが作る作品や商品がお客さんの目にとまり、手にとっていただくことで、障がいのある人への理解が広がるといいね。



## 市内にはほかにもさまざまな福祉施設があります



2020年にはオリンピック・パラリンピックもあるし、まちだがたくさんの人にとって住みやすく、気配りのあるまちになるといいね。



「赤い屋根」の皆さんが作る豆腐は好評です



かわいいリサイクル製品などを製作・販売する「クローバーの会」



1・2面で紹介した施設のほか、市内には福祉施設がたくさんあります。各施設の製品や販売情報はこちらからご覧いただけます。



ハッピーかわせみ まちだハッピー